

浜松医療センター新病院建設事業について

1 新病院の基本理念・基本方針 【浜松市新病院構想（平成 24 年 9 月）から抜粋】

- (基本理念) 「安全・安心な、地域に信頼される病院」
- (基本方針)
- ・ 地域医療の確保
 - ・ 医療水準の向上
 - ・ 患者中心の医療の確立
 - ・ 安全管理の徹底
 - ・ 健全運営の確保

2 新病院の果たすべき役割

- ・ 地域医療の基幹病院として、救命救急に対応したハイパー急性期医療とともに、地域包括ケアシステムにも対応した公立病院としての役割を果たす。

※ 今後、県が策定する地域医療構想における医療供給体制との調整を行う。

3 基本的事項

- (1) 標榜診療科目 静岡県が策定する地域医療構想や地域基幹病院の動向なども参考に今後調整していく。
- (2) 病床数 新病棟 約 4 2 0 床 + 既存病棟 約 1 8 0 床
合計 6 0 0 床程度とする。
- (3) 平均在院日数 1 4 日程度を目標とする。
病床利用率 8 7 % を目標とする。
- (4) 外来患者数 1 日当たり 9 0 0 人程度を想定する。

4 新病院の整備手法

- ・ 東京オリンピック等の建設特需による建設単価動向を見極めた発注時期や整備手法の検討を行う。
- ・ 建設構想では、基本設計分離型のデザインビルド方式の採用を妥当としたが、従来型の分離分割発注方式の利点を持ち、トータルコスト縮減可能な手法を検討する。

5 新病院の建設規模及び事業費

- (1) 建設規模
- | | | |
|-------|-------------------------|------------------------------|
| 病院全体 | 約 51,000 m ² | (85 m ² ×600 床) |
| うち新病棟 | 約 38,000 m ² | |
| うち旧病棟 | 約 13,000 m ² | |
- (2) 事業費
- | | |
|--------------|--|
| 本体建設工事費(基本分) | 133.76 億円 (約 35 万円/m ² で積算) |
| 総事業費 | 228.57 億円 |

6 病院経営における課題対応

(1) 安定的な経営基盤の確保

○医療公社の自助努力による経営改善の推進

- ・患者数増加対策として、幹部医師による新規開業を含め診療所訪問強化
- ・診療科間の連携強化による紹介患者を断らない院内体制の確保
- ・診療材料の共同購入組織加盟による経費節減の推進
- ・新病院における質の高い医療の提供と効率的な業務運営体制の構築（センター化、患者を待たせない体制など）

○外部チェック体制の強化

- ・議会による経営監視（定期的な経営状況確認）
- ・有識者による外部評価の継続

(2) 医師会・浜松医科大学との連携

○医師会との連携強化

- ・紹介患者を断らない院内体制の整備（再掲）
- ・地域診療所への最新診療情報等の情報提供強化
- ・幹部医師による新規開業を含めた診療所訪問強化（再掲）
- ・医師会総会や合同医局などあらゆる機会を利用しての営業活動の実施

○浜松医科大学との連携強化

- ・研修医に対する臨床研修体制強化
- ・医師を派遣している教授への定期的訪問・意見交換の実施

7 1・2号館の有効活用に向けた対応

- 民間施設誘致の可能性調整
- 有効活用する場合の改修コストの詳細計算
- 有効活用した場合の維持管理コストの試算

〈参考〉

1号館及び2号館 22,277.62 m²うち、地下機械室等を除く面積約19,000 m²

【市の施設の移転】

保健所・母子保健センター 4,851.22 m²

看護専門学校（体育館を除く）2,787.94 m² 合計 約7,600 m²

【民間を施設誘致】

19,000 m² - 7,600 m² = 約11,400 m²